

茅ヶ崎市青少年対策取組方針に基づく
令和7年度事業報告

目 次

1 令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針	P2
2-1 主要な事業	
(1) 学校教育指導課	P4
(2) 教育センター	P6
(3) 社会教育課	
社会教育担当	P8
博物館	P9
小和田公民館	P10
鶴嶺公民館	P11
松林公民館	P12
南湖公民館	P13
香川公民館	P14
(4) 青少年課	
育成担当	P15
青少年会館	P17
(5) 図書館	P18
2-2 事業一覧(参考)	P19

令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針

茅ヶ崎市青少年対策基本方針に基づき、子どもたちを取り巻く社会環境が多様化・複雑化する中で、青少年が可能性の幅を広げ、主体的に活動できるよう、次のとおり青少年対策を実施し、青少年の育成活動を推進する。

1 家庭における青少年育成への支援

(1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充

- ア 青年事業 青年の健康な余暇活動推進の一環として、オンラインの活用を含めた様々な学習機会を提供し、知識及び技能の習得及び向上、世代間交流を図る
- イ 親子事業 子どもと保護者が同じテーマで学習することによって共通の話題を持ち、相互のふれあいを図る。
- ウ 子ども事業 集団行動を通して自発性や社会性を育み、広域の児童の文化活動や仲間づくりの促進を図る。
- エ 交流事業 地域・国際の理解を深め、交流を促進する。

(2) 放課後等の青少年の居場所づくりの充実

- ア 小学校ふれあいプラザ事業の充実
- イ 放課後児童クラブの運営
- ウ 地域における青少年の居場所づくり

2 学校教育の充実

- (1) 地域の教育資源を活用した教育活動の推進
- (2) 児童・生徒指導の充実
- (3) 青少年教育相談の充実
- (4) ICT環境を活用した学習活動の推進
- (5) 特別支援学級の全校設置
- (6) 中学校給食の全校実施

3 地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実

- (1) 青少年健全育成施設の有効利用の促進
- (2) 青少年指導者の養成
- (3) 青少年団体活動等の充実
- (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実

4 青少年の非行防止のための地域活動の充実

- (1) 地域の広報啓発活動の推進
- (2) 非行の未然防止活動の充実
- (3) 有害環境の浄化の促進等

5 子どもの安全を守る取組の推進

- (1) 啓発活動の充実
- (2) 学校における取組の充実
- (3) 地域活動への支援
- (4) インターネットトラブル等に対する取組の充実

2-1 主要な事業

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	学校支援・地域連携事業			
取組方針	【2】学校教育の充実 (1) 地域の教育資源を活用した教育活動の推進			
目標・目的	学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで児童・生徒の心身の健やかな育成を図ります。また、地域の教育資源を生かした様々な教育活動をとおして、より質の高い学びの実現を図ります。			
事業内容	「茅ヶ崎市教育基本計画」に基づき、学校支援・地域連携事業等を生かした地域との連携を軸にした教育活動の実施、及びふれあい教育推進事業、中学校部活動指導協力者の派遣、読書活動協力者の派遣、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活用を推進します。			
活動指標	計画の実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業実施	事業実施	計画の実施	S
実績	事業実施	事業実施	計画の実施	
【事業実績】				
「茅ヶ崎市教育基本計画」に基づき、地域との連携を軸にした教育活動の実施及び指導協力者の派遣等を推進しました。				
「地域とともにある学校づくり」の推進に向けて、令和7年度は新たに小・中合同の2協議会を含む小学校7校、中学校6校の計13校に学校運営協議会を設置し、これをもって全市立小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。				
学校支援・地域連携事業については、小・中学校2校を実践研究校に指定し、研究を推進するとともに、担当者連絡会を開催し、湘南三浦教育事務所指導主事から今後のコミュニティ・スクールの推進に向けた講話、及び学校運営協議会既設置校による実践報告を行いました。				
○実践研究校による学校・家庭・地域社会の望ましい連携の在り方についての研究				
・小学校：小和田小学校、中学校：萩園中学校				
○令和7年度第1回学校支援・地域連携担当者連絡会 6月16日（月）				
・講話：「つながりは〇〇 ～やってみよう探し～」 講師 湘南三浦教育事務所 指導主事				
○令和7年度第2回学校支援・地域連携担当者連絡会 2月25日（水）				
・学校支援・地域連携実践研究校による実践報告				
令和6・7年度地域学習の取組 小和田小学校・萩園中学校				
・ふれあい教育推進事業については、小学校18校、中学校11校で福祉体験学習や農業体験学習、文化芸能体験等が実施された旨、報告を受けました。				
・中学校部活動指導協力者派遣事業については、市内中学校に延べ2,600回の指導協力者の派遣を行いました。				
・中学校部活動指導協力者研修会：5月9日（金）、10日（土）対面・オンラインのハイブリッド開催。両日参加できなかった方々は、アーカイブにより受講していただきました。				
・読書活動指導協力者派遣事業については、小学校19校に読書活動指導協力者の派遣を行うとともに、連絡会を通して情報交換等を行い、各学校の状況を把握しました。				
・読書活動指導協力者連絡会：9月1日（月）に開催し、児童一人一人がより効果的な読書活動を展開できるよう情報交換を行いました。				
・学校体育指導支援事業（小学校水泳学習）については、民間施設を活用し、民間指導者と教員がそれぞれの強みを活かしながら連携・協働することにより、学びの質の向上と、教員の負担軽減等を図りました。				
・小学校6校全児童（茅ヶ崎小学校・鶴嶺小学校・松林小学校・室田小学校・松浪小学校・浜須賀小学校）を対象に施設利用型で4回実施。年度途中に学校プール施設が破損した香川小学校3・4年生を対象に、民間施設を利用した水泳学習を3回実施。その他の小学校12校で3・4年生児童対象に指導者派遣型における授業を3時間程度実施しました。				
【取組の成果】		【課題・今後の取組】		
今年度は、湘南三浦教育事務所の指導主事から、「つながりは〇〇 ～やってみよう探し～」と題して講話をいただきました。また、令和6・7年度学校支援・地域連携実践研究校である小和田小学校・萩園中学校からの実践報告や、学校・学区の魅力についての協議を通して、自校の取組について見直し、学校と地域でつくるコミュニティ・スクールの未来へのアイデアをより豊かにするためのヒントをいただく機会となりました。		令和8年度から、全校がコミュニティ・スクールとして、新年度を迎えます。今後、各学校や地域の実情に応じたより効果的な取組を推進できるよう、人的・物的資源の活用をはじめ、予算面等における課題について検討し、引き続き各学校の取組を支援してまいります。		

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名		GIGAスクール構想事業			
取組方針		【2】学校教育の充実 (4) ICT環境を活用した学習活動の推進			
目標・目的		未来を担う子どもたちの学びをより豊かなものにしていくため、国のGIGAスクール構想に基づき、市内の全小・中学校に整備したICT環境を効果的に活用した学習活動を展開できるよう、教職員の指導力の向上を図り、児童・生徒の「情報活用能力」を育成します。			
事業内容		教職員に対して、児童・生徒の個別最適な学びと協働的な学びの充実を図るため、1人1台端末等のICTを活用した指導力向上のための研修を行います。電算化した学校図書館について、蔵書検索や児童・生徒の読書量の実態把握等、1人1台端末を生かした学校の情報拠点としての活用を図ります。また、家庭と学校を結ぶツールとして、1人1台端末を活用し、学校教育のDX化を推進します。			
活動指標		教育委員会による教職員に対する研修実施回数			
		上半期	下半期	通年	評価
目標		—	—	10回	S
実績		5回	5回	10回	
【事業実績】 各学校に配備した1人1台端末が十分に活用されるよう、教育の情報化推進担当者会において、3回の研修を実施しました。 ○第1回4月14日（月） ・端末の具体的な活用の仕方についての研修 ○第2回7月8日（火） ・1人1台端末やロイノート等のアプリケーションを活用する視点での授業研究協議会 ○第3回1月23日（金） ・学校ICT環境整備に係る年次更新に向けた情報共有 併せて計画訪問では、1人1台端末の効果的な活用法について説明するとともに、実際の授業における活用状況を踏まえた協議を実施しました。 ・小学校4校（浜之郷小学校：5月16日（金）、汐見台小学校：7月7日（月）、茅ヶ崎小学校：10月24日（金）、鶴が台小学校：11月12日（水）） ・中学校3校（北陽中学校：7月11日（金）、中島中学校：10月7日（火）、西浜中学校：10月29日（水）） 1人1台端末の故障やシステムの不具合をはじめ、ICT活用に係る困り事が起きた際は、各学校の情報化推進担当教員がチャットを利用してICT支援員や担当指導主事と情報共有し、改善を図りました。 また、「個別最適な学び」の実現に向け、デジタル教材の効果的な活用に向けて、情報提供するとともに、必要に応じて設定を行いました。 1人1台端末の入替について、教育の情報化推進担当教員に対し、実機を用いた次期端末の情報提供を行うとともに、各小・中学校に合計20,052台の端末を配備しました。					
【取組の成果】 1人1台端末が、児童・生徒の意見共有を効率的かつ効果的に行えることが認知され、各学校では、授業において端末を活用することが当たり前になっています。 また、家庭学習においても、児童・生徒が端末を自宅に持ち帰って活用したり、自ら進んで学習したりする機会が増えました。 学級閉鎖等による休業期間中においては、オンラインにて授業を実施する学級があることや、不登校児童・生徒に対して、1人1台端末を用いた学習を行うなど、オンラインの強みを生かした、効果的な活用が多く見られています。			【課題・今後の取組】 授業の目標に合わせた効果的な使用場面や用途についての研究をさらに進め、紙・実物とICTのベストミックスについて、今後も研究を重ねていきます。 また、1人1台端末の持ち帰る機会が増え、児童・生徒の情報モラルの欠如によるトラブルも報告されています。様々な機会を捉えて、情報モラル育成に向けた指導を実施するとともに、教育の情報化推進担当教員を中心として学校全体で、端末の活用目的や適切な使い方について考えさせる学習を推進し、児童・生徒の情報活用能力を育んでまいります。		

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	青少年教育相談事業
------------	-----------

取組方針	【2】学校教育の充実 (3) 青少年教育相談の充実
目標・目的	青少年が直面するさまざまな相談に対応し、青少年の健全な育成を目指します。 激しく変化する社会を反映して複雑化・多様化する相談に適時適切に対応し、児童・生徒、青少年を支援します。
事業内容	青少年教育相談として、電話相談や面接（来所）相談等、相談者一人一人の実情に応じて各種相談を提供します。 不登校、またはその傾向にある児童・生徒への支援としてあすなる教室を運営し、通室生の学校復帰や社会的自立を支援します。 複雑化・多様化する相談に適時適切に対応できるよう、スーパーバイザーの指導・助言を受けながら相談員の資質向上に努めます。

活動指標	相談員の人数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	10人	10人	—	S
実績	10人	10人	—	

【事業実績】
青少年教育相談では、相談者に対して適切な支援を提供できるよう、ケースに応じて学校や関係機関との連携を図り、情報共有等を行うとともに、心理相談員同士のケース会等を実施し、相談技能の向上に努めました。 令和7年度の青少年教育相談件数及び内訳は次のとおりです。 【相談件数（合計）】 … 2,675件 ・電話相談 … 318件 ・面接（来所）相談 … 2,317件 ・小・中学校要請教育相談 … 8件 ・不登校児童・生徒訪問相談 … 32件 主な相談内容（上位3項目）は次のとおりです。 ・不登校・ひきこもり … 1,685件（約63％） ・発達障がい … 386件（約14％） ・性格行動上の問題 … 216件（約8％） 令和7年度3月末時点でのあすなる教室通室生の人数は、45名（小学生18名、中学生27名）でした。あすなる教室では、不登校やその傾向にある児童・生徒の社会的自立や学校復帰に向けて、温かく丁寧な支援に努めるとともに、スーパーバイザーによる研修会を次のとおり実施しました。 ○医療研修会（年間3回） ・【第1回】 6月10日（火）、【第2回】 11月25日（火）、【第3回】 1月27日（火） ○心理研修会（年間6回） ・【第1回】 5月19日（月）、【第2回】 7月 7日（月） ・【第3回】 10月20日（月）（※スーパーバイザーの都合により12月8日（月）へ変更） ・【第4回】 11月17日（月）、【第5回】 1月 8日（木）、【第6回】 2月16日（月） ○訪問相談員研修会（年間2回） ・【第1回】 5月23日（金）、【第2回】 10月31日（金）

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
・相談者一人一人のニーズや状況に寄り添った丁寧な対応を心がけるとともに、学校や外部機関との有機的な連携を行いました。これにより、多様化・複雑化する課題に対しても、組織的かつ包括的な支援を展開することができました。 ・不登校児童・生徒訪問相談の件数は前年度に比べ20件の増加となりました。訪問相談員との関わりを通じてエンパワメントされたことで、悩みや不安が和らぎ、登校への意欲や学校とのつながりが生まれました。 ・スーパーバイザーによる研修会を実施したことで、医療や心理といった専門的な視点からの助言を得ることができました。これにより、児童・生徒の状況への多角的な理解が深まり、個々の児童・生徒の状況に応じた、よりの確で実効性の高い支援へとつなげることができました。	・面接（来所）相談において、検査受検のみを目的とした利用が増加しており、緊急対応や継続的な支援を要する相談枠の確保が困難な状況が見られました。教育センター（相談機関）としての相談体制の適正化を図られるよう、研修会等の機会を通じて、学校や関係機関へ改めて周知徹底を行います。 ・あすなる教室での心理研修会の開催曜日を固定せず分散させることで、より多くの対象者を支援できるよう配慮しました。 ・不登校児童・生徒への訪問相談（アウトリーチ支援）をさらに推進するため、対面での家庭訪問が困難なケースに対し、オンラインを活用した訪問相談を導入します。ICTを活用することで心理的・物理的なハードルを下げ、支援の空白を作らない体制を構築します。

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	心の教育相談事業			
取組方針	【2】学校教育の充実 (3) 青少年教育相談の充実			
目標・目的	各小・中学校に「心の教育相談員」を配置し、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援するとともに、組織的な支援を行えるよう学校相談体制の充実を図ります。			
事業内容	心の教育相談員が、話し相手や相談相手となり、児童・生徒の心の安定を図るとともに、不登校傾向にある児童・生徒に対応します。 校内においては必要に応じて管理職や教職員と、中学校区連絡会では中学校区内の小・中学校間の情報共有等を通して組織的な支援のための連携に努めます。 複雑化・多様化する児童・生徒からの相談等に対応できるようスーパーバイザーを講師とした研修会を実施し、心の教育相談員の資質向上に努めます。			
活動指標	心の教育相談員の人数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	32人	32人	—	S
実績	32人	32人	—	
【事業実績】				
各小・中学校に1名ずつ配置された心の教育相談員が、児童・生徒の悩みの相談を受けたり話し相手になったりするなどの役割を 務め、児童・生徒の心の安定を図るとともに、状況に応じて教職員等との情報共有を行い、校内支援体制の充実にも努めました。 令和7年度の心の教育相談件数及び主な相談内容（上位3項目）は次のとおりです。 【相談件数（合計）】 …78, 382件 （内訳：上位3項目） ・ふれあい相談（休み時間等に相談員との交流を通して心の安定を図る） …68, 734件 ・不登校 … 4, 687件 ・学習関係 … 1, 102件				
心の教育相談員の相談技能の向上と相談員同士の連携の強化を図るため、心の教育相談員研修会等を次のとおり実施しました。 ・心の教育相談員研修会（年3回実施） 開催日時：第1回 5月15日（木） 第2回 7月30日（水）※津波警報の対応のため延期（令和8年2月12日（木）に代替研修を開催） 第3回 12月24日（水） 場 所：青少年会館ホール ・児童・生徒自立支援講座 開催日時：9月26日（金） 場 所：青少年会館ホール				
同じ中学校区内の心の教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を深めるため、心の教育相談員 中学校区連絡会（各中学校区ごとに年間3回（6月・11月・2月））を実施しました。				
【取組の成果】		【課題・今後の取組】		
・小学校で「ふれあい相談」を経験した児童が、中学校進学後も継続して相談を利用するケースが増えています。その結果、中学校での相談件数が増加していますが、これは児童・生徒が自らSOSを発信する力が育まれたとともに、小学校での心の教育相談員との関わりが、中学校での支援体制の充実にも寄与していると評価できます。 ・児童・生徒が抱える「悩みの芽」が小さいうちに相談員が寄り添い、早期に状況を把握することで、問題の深刻化を防ぐ早期発見・早期対応が可能となっています。こうした相談員による初動の速さが、教員やスクールカウンセラー等との円滑な連携の起点となり、不登校等の未然防止に向けた組織的な支援体制の構築につながっています。 ・心の教育相談員の相談スキルの向上と学校間の支援格差の解消が図られるよう、研修を実施しました。研修において相談員同士のネットワークを深めることは、相談員自身の不安や悩みの解消にも寄与しており、結果として、児童・生徒が安心して相談できる環境の整備へとつながっています。		・心の教育相談員が情報を一人で抱え込むことを防ぐため、校内での情報共有を徹底する必要があります。管理職をはじめ、担任や教育相談コーディネーター等との定期的な情報共有の場を設けるほか、相談員がケース会議や支援会議へ積極的に参加できるよう、各学校へ体制整備の働きかけを継続していきます。 ・研修会での講義・演習のテーマについては、児童・生徒の実態や学校の実情を踏まえた心の教育相談員のニーズをもとに、より実践的で実効性のある研修となるよう工夫していきます。 ・校内支援体制の充実が図られるよう、研修会への参加対象者に教員を追加し、支援に対する教員の知識・理解を深めていきます。 ・市全体の相談体制の安定化や好事例の共有を図られるよう、積極的に経験豊富な心の教育相談員の人事異動を行います。		

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名		茅ヶ崎 e フェス2025夏			
取組方針		【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 イ 親子事業 ※【1】-(1)を選択した場合のみ			
目標・目的		子どもたちがICT機器に慣れ親しむ一方、SNSによるトラブルなど新たな社会問題となっていることを踏まえ、eスポーツを活用しながらデジタルリテラシーについて親子で理解を深めることを主な目的とします。			
事業内容		eスポーツやデジタル機器操作の体験、デジタルリテラシーについて親子で学ぶことができるコーナーなどを設けた学びのイベントを「茅ヶ崎eフェス2025夏」と題して開催します。			
活動指標		事業計画・実施			
		上半期	下半期	通年	評価
目標		事業計画・実施	－	－	S
実績		1回	－	－	
【事業実績】					
小中学生とその保護者を対象に、eスポーツやデジタルツールなどを通じた体験型講座「茅ヶ崎 e フェス 2025夏」を開催しました。チーム対抗戦やプログラミング、VR体験などの直接体験を通して、論理的思考やコミュニケーション能力、デジタルリテラシーの大切さを学びました。 事業名：茅ヶ崎 e フェス 2025夏 開催日時：令和7年8月3日(日) 13時00分～17時00分 場所：茅ヶ崎市役所 本庁舎1階 市民ふれあいプラザ 参加人数：約300名（小中学生とその保護者） 内容：【eスポーツ大会】チームでの戦略立案と協力プレイの体験。 【マイクラフト建築体験コーナー】パソコンを用いた創造的活動。 【プログラミング体験コーナー】デジタルツールによるものづくり体験。 【デジタルリテラシーコーナー】動画視聴とクイズによるネットリテラシー啓発。 【VR体験コーナー】最新技術の体験。 運営補助：市内の通信制高校のサポート校（小学校・中学校時代に様々な事情で不登校となった学生が多く在籍）及び専門学校の学生ボランティアによる運営補助。					
【取組の成果】			【課題・今後の取組】		
初めて企画した規模のイベントであり、想定を上回る約300名の来場がありましたが、大きな混乱なく運営することができました。 アンケートの結果、「講座の内容」については回答者の全員が「とても良かった」または「良かった」と回答しています。特に「チームで動くことの大切さを学べたか」という設問に対し、全ての回答者が肯定的な評価をしており、初対面のチーム同士で意気投合し仲良くなるなど、ゲームを通じたコミュニケーション能力の向上やチームワークの理解に大きな成果が見られました。またアンケート内のデジタルリテラシークイズの正答率も95%と非常に高く、楽しみながら啓発につなげることができました。 また、学生ボランティアにとっても、イベントの運営を体験する貴重な学びの機会となりました。			・来場者が想定を大幅に上回り、入退室自由のイベントとしたため、アンケートの回収率が低くなってしまったことや、Wi-Fi接続の不備が見られたことが課題として挙げられます。次回は配布方法やアナウンスのタイミング、Wi-Fi接続等への備えについて改善を図ります。 ・約300人の集客を実現した実績を活かし、次回はより複合的な学びの場を提供することを検討します。 ・市内の通信制高校のサポート校や市外の専門学校の学生がボランティアとして運営に携わったことは、次世代の社会参加を促す上で非常に有意義であったと考えます。次年度も学生が運営の面白さや難しさを実体験できる場を継続的に提供するため、ボランティア証の交付など、学生の意欲を支える工夫にも努めていきます。		

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どもワークショップ
------------	------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実
目標・目的	茅ヶ崎の自然や歴史・文化に関する資料や情報を活用し、茅ヶ崎の魅力の発見や愛着と誇りの醸成を図ります。
事業内容	子どもたち（主に小・中学生）を対象に、学芸員が博物館の収蔵資料や情報を素材に、標本づくり、まが玉づくり、古代のゲーム体験などのワークショップを実施します。 ワークショップの実施にあたっては、調査研究・収集保管・教育普及という博物館の根幹事業や人員体制とのバランスを考慮します。

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画・実施（6回）	事業実施（3回）・次年度事業計画検討	事業計画・実施（9回）	S
実績	7回	5回	12回	

【事業実績】
子ども（小・中学生）を対象とした事業として、月1回程度の頻度でプログラムを実施し、茅ヶ崎の自然や歴史、実物の文化財に触れる機会を提供しました。また、開催中の企画展と連動したワークショップを実施することで、展示内容への理解を深めるとともに、子どもたちの興味・関心を高め、主体的な学びを促進する機会の充実を図りました。 ①まが玉づくり 開催日時：令和7年4月29日（火・祝）《参加人数26人》 ②赤ちゃんと一緒に博物館 開催日時：令和7年6月3日（火）《参加人数23人》 ③樹脂標本づくり 開催日時：令和7年7月30日（水）《参加人数10人》 ④古代あそび体験 開催日時：令和7年8月7日（木）《参加人数13人》 ⑤チリモン画伯 開催日時：令和7年8月16日（土）《参加人数26人》 ⑥ミニ鬼瓦づくり 開催日時：令和7年8月17日（日）《参加人数30人》 ⑦赤ちゃんと一緒に博物館 開催日時：令和7年9月9日（火）《参加人数28人》 ⑧下寺尾まち歩き 開催日時：令和7年10月5日（日）《参加人数17人》 ⑨化石レプリカづくり 開催日時：令和7年11月24日（月・祝）《参加人数19人》 ⑩赤ちゃんと一緒に博物館 開催日時：令和7年12月2日（火）《参加人数8人》 ⑪木簡書初め 開催日時：令和8年1月18日（日）《参加人数20人》 ⑫お魚標本づくり 開催日時：令和8年3月15日（日）《参加人数10人》

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
子どもたちが日常生活では触れることのない自然や歴史、文化に関する体験機会を創出することで、茅ヶ崎の魅力を再発見し、郷土への愛着と誇りの醸成に寄与しました。	令和6年度下半期における事業数の見直しを踏まえ、令和7年度の子どものワークショップ事業は、月1回程度の回数をコンスタントに実施すること及び、実施実績のあるイベントを基本的に焼き直して行うことを原則として実施しました。加えて、⑨『化石レプリカづくり』や⑫『お魚標本づくり』などの自然系ワークショップでは、新機軸のイベントを企画・実施することもできました。今後も、他の諸業務とのバランスを勘案しながら、実施実績のあるイベントをベースとしつつ、少しずつ新機軸のイベントの企画・立案も図りたいと考えます。

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	夏休みこわだ子どもキッチン
------------	---------------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (2)放課後等の青少年の居場所づくりの充実
目標・目的	夏休みの子どもの居場所づくりとして共働き家庭の支援をするとともに、生活する上で重要な「食＝生きる力」を養う。また、異学年の小学生や地域の大人ボランティアとの多世代交流を図ることで、大人の生きがいがづくりや顔の見える地域力向上に寄与する。
事業内容	小学校の夏休み期間中、地域協力団体と一緒にお昼ご飯の調理実習をする。使用する野菜は、公民館敷地内にある畑を活用する。その畑の世話は、市社協、包括支援センターさざなみ、公民館の3者が協力し、地域の大人ボランティアを募集し担ってもらう。

活動指標	事業実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	14回	反省会1回	—	S
実績	14回	反省会2回	—	

【事業実績】
小学3～6年生を対象に、地域団体や小和田公民館利用団体で構成された「こわだ子どもキッチンクラブ」が講師となり、夏休み期間の平日（休館日除く）14日間事業を実施しました。 申込者数90名（のべ562件）、参加者（当選者）数83名（のべ250件） ①7月23日（水）ルウいらず夏野菜たっぷりカレーとキラキラゼリー（藤沢友の会小和田地区） ②7月24日（木）リングハンバーグとパン粉のスープデザート付（手塩会） ③7月29日（火）オリジナルハンバーガーとポトフ（キッズママ） ④7月30日（水）五目あんかけ焼きそばミルク風味、卵とわかめの中華風スープ、杏仁風牛乳かん（茅ヶ崎市食生活改善推進団体） ⑤8月5日（火）ガブッとハンバーガー＆ジュリアンスープ（藤沢友の会小和田地区） ⑥8月6日（水）ほうれん草とハムのパンキッシュ、コールスローサラダ、バナナヨーグルトゼリー（茅ヶ崎市食生活改善推進団体） ⑦8月7日（木）巻いて巻いて♪わくわく春巻きとそうめん（松浪地区民生委員児童委員協議会） ⑧8月19日（火）おいしい手作りうどんと焼きかき揚げデザート付（湘南こわだ会） ⑨8月21日（木）とびっきりカレー（手塩会） ⑩8月22日（金）鮭ちらしとキャベツとベーコンのソテーとフルーツゼリー（こわだ大人ボランティア） ⑪8月26日（火）お楽しみ丼〜どんなどんぶり＆みそ汁（松浪地区民生委員児童委員協議会） ⑫8月27日（水）レンチンオムライスとバリバリサラダデザート付（なの花薬局辻堂店） ⑬8月28日（木）作ってあそんでおにぎらず＆自分サラダデザート付（松浪小学校区青少年育成推進協議会）ミニ工作コーナー有り ⑭8月29日（金）豚スタミナ丼とポリポリきゅうりとみそ汁（こわだ大人ボランティア）

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
事業全体で、1日平均40名（定員16名程度）の申し込みがあり、地域の課題にマッチした内容の事業ができたと思います。 また、講師として関わった地域の大人は99名（のべ）が皆「地域の子どもとこんなに濃密な時間を過ごす機会はなかなかない。とても楽しかったので来年も参加したい。」と参加した子どもだけでなく、大人からも参加した意義を感じられた感想を聞くことができました。 また、保護者アンケートでも、居場所として助かった、料理に興味を持ち家でも同じレシピで作ってくれた、苦手な食材を食べれるようになったなど、多くの方から感謝の声をいただきました。	物価が高騰する中、参加料1人300円で実施しましたが、地域からの寄附や政府備蓄米の申請などで、この価格が実現しました。 持続可能な事業となるよう、キッチンクラブが公民館まつりで模擬店を出し、その売り上げで寄附がなくても参加料を値上げせず必要な食材が提供できるよう尽力いただきました。 令和8年度は、引き続き夏休みの子どもの居場所として、13日間実施予定です。

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どももおとなもみんなで音あそび
------------	------------------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 イ 親子事業 ※【1】-(1)を選択した場合のみ
目標・目的	・障がい者対象の事業を実施し、学びの機会を創出すること ・主催事業への参加を通して、地域の障がい者が公民館を気軽に過ごせるサードプレイスと認識してもらうこと
事業内容	鶴嶺公民館の近隣小学校支援級及び茅ヶ崎支援学校の児童とその家族を対象に、音楽に合わせて楽器でリズムをとったり、体を動かしたりして表現活動を行う。

活動指標	事業実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画	実施	1回	S
実績	事業計画	実施	1回	

【事業実績】 障がい者対象の事業を実施し、子どもだけでなく、大人も一緒に絵本や音楽を使った遊びを通して、体を動かしたり表現活動を行いました。 開催日時：令和7年11月22日（土）14時～15時 場所：鶴嶺公民館 参加人数：2組/定員：8組 ※3組の申し込みがあったが、1組は当日キャンセル 講師：片山 恵美子 氏
--

【取組の成果】 令和6年度に茅ヶ崎支援学校の保護者と意見交換会を行った際、「インクルーシブに逆行するが、まずは障がい児限定のイベントをしてほしい」という趣旨の意見を受け、6年度の3月に本事業を実施、好評であったため、令和7年度も継続して実施しました。7年度は土曜日の開催となり、障がい児の放課後デイサービスと重なったことで参加が2組と少なかったものの、講座出席者へのアンケートでは、保護者の方より「子供が好奇心いっぱいに活動し、意欲的に取り組んでいた」「また参加したい」というコメントをいただき、参加を通して、地域の障がいのある子どもたちが公民館を気軽に過ごせるサードプレイスの1つであると認識してもらうことができました。	【課題・今後の取組】 令和6年度は日曜日に開催し、今回は土曜日に開催しましたが、申し込みが少なかったため、聞き取りをしたところ、土曜日は障がい児の放課後デイサービスに通所している児童が多く、日程が合わなかったため参加を見送った家族があることが判りました。申し込み開始後判明したこととはいえ、事前リサーチ不足であったことが反省点です。今後は、子どもたちの生活環境を考慮しながら、日曜日や祝日の企画を検討していきたいと思います。 また、本事業のように、対象を限定した事業も継続的に実施すると共に、障がいの有無に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できるインクルーシブな講座の開催も目指していきます。
---	---

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どもの広場
------------	--------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 ウ 子ども事業 ※【1】-(1)を選択した場合のみ
目標・目的	地域のボランティアの協力を得て、子どもたちへ様々な体験の機会や必要な知識を提供します。また、子どもたちの自主性を育てる内容等を盛り込みます。社会の状況に合わせて、開催方法について適宜対応しながら実施します。
事業内容	季節に合わせた工作等の事業を地域の関係団体の協力を得ながら実施します。社会の状況に合わせて、開催方法を検討しながら実施します。

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画・実施	事業計画・実施	—	S
実績	事業計画・実施（2回）	事業計画・実施（3回）	—	

【事業実績】 季節の祭事に関連した物づくりや、子どもだけでは出来ない遊びやスポーツなどをする機械や場所をボランティアの団体等の協力を得ながら提供しました。また、作品を見せ合うことによって参加者同士の交流を図りました。 ① 5月31日（土）「子どもの広場～ガーランドを作ろう」 参加人数： 4人 定員：15人 ② 6月28日（土）「子どもの広場～七夕飾り」 参加人数： 9人 定員：15人 ③ 10月19日（土）「子どもの広場～ハロウィンイベント」 参加人数：30人 定員：30人 ④ 12月 6日（日）「子どもの広場～あみものチャレンジ」 参加人数：14人 定員：15人 ⑤ 2月28日（土）「子どもの広場～親子でモルック体験」 参加人数：15人 定員：24人	
---	--

【取組の成果】 令和7年度は、対面講座として5回開催することが出来ました。 講師は、松林公民館近隣にお住まいの方の他に、室田学区青少年指導員、松林学区青少年育成推進協議会、松林地区民生委員児童委員協議会、松林地区体育振興会と協力して、企画・実施を行いました。 また、年間を通して、多数の方々に参加をいただき、参加者アンケートにおいても大変好評である旨の意見をいただきました。	【課題・今後の取組】 一部講座で定員に満たなかったところについては、事前に外部イベント等の情報収集を行い、また、今までのメール配信、ライン配信の他に、今後はインスタグラムの積極的活用を検討いたします。
---	--

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	子どもの広場
------------	--------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 ウ 子ども事業 ※【1】-(1)を選択した場合のみ
目標・目的	小学生を対象に学区や学年を越えた交流の場を提供し自発性、社会性を育むとともに、新たな事業も取り入れていくことで子どもたちへの学習機会の提供を増やしていく。
事業内容	小学生向け工作、工場見学、お菓子作り、調理等の他に、博物館見学やマジック教室も開催し、子どもの考える力や発想力、ともに協力する力を育む一助とします。

活動指標	事業実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	6回	3回	9回	S
実績	5回	3回	8回	

【事業実績】 小学生を対象に博物館見学、工場見学、料理教室や工作を通して、学区を越えた仲間づくりと交流の場を提供し、また多様なテーマの学習をすることで、子どもたちに幅広く新しい知識を増やすことができました。 ・「生命の星・地球博物館へ行こう！」5月31日（土）、参加人数：15人／定員：15人 ・夏休み特集①アルバック工場見学と真空実験教室（蒸着実験、マグデブルグの半球実験、ふうせんとマシュマロ実験）7月25日（金）、参加人数：18人／定員：18人 ・夏休み特集②雪印メグミルク海老名工場見学（工場の製品加工の方法やシステムを知る見学）8月1日（金）、参加人数：15人／定員：15人 ・夏休み特集③マジック教室（トランプマジック他）8月22日（金）、参加人数：10人／定員：15人 ・うどんを作ろう！9月27日（土）、参加人数：12人／定員：12人 ・ハロウィンのお菓子を作ろう！10月18日（土）、参加人数：12人／定員：12人 ・工作キャッチボールマシンを作ろう！11月15日（土）、参加人数：14人／定員：30人 ・「じゃがいもを育ててカレーを作ろう！」3月7日（土）、参加人数：12人／定員：12人

【取組の成果】 博物館や工場の見学、マジック、調理、お菓子作りなどを通して、子どもたちに多様な学習の機会を提供し、学年や学区を越えた仲間づくりや交流の場にもなった。キャッチボールマシンは簡単な材料で作れて遊んで楽しい工作であったので、3月の公民館まつりでも行った。	【課題・今後の取組】 自然や環境、食についての学びを深め、地域性や歴史にも興味や関心を高めていきたい。班での作業を通じて友達と協力する社会性を育て、学校では得ることができない知識や学びも得られるようにしていく。
--	---

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	レッツ！トライ！ボランティア！！2025
------------	----------------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実
目標・目的	地域社会が抱えている問題や注目されている話題等について、参加する子どもたちの興味や関心に基づきテーマを設定することで、自発的な探求心や思考力、実践力を伸ばしていくことを目的とします。活動を通して異なる学校、学年の子どもと一緒に参加する地域の大人たちとの交流を深めるとともに、今後の公民館における様々な活動に参画してもらおうきっかけづくりの場とします。
事業内容	子どもたちが主体となり、他のメンバーやスタッフの大人たちと話し合いながら、住んでいる地域の課題や自分たちが学びたいことをテーマとして、幅広く体験・学習します。公民館まつりや地域のイベントで活動の成果を発表します。

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	5回	6回	11回	S
実績	5回	6回	11回	

【事業実績】
小学3年生から中学1年生まで、学校・学年の違う子どもたちが、年間を通じ、福祉、平和、防災、環境等、様々なテーマについて、学び、体験することができました。 5月18日(日) 第1回実行委員会 テーマ決め 6月15日(日) 第2回実行委員会 テーマ決め、係決め、オープンスペース七夕飾りを作ろうの練習 7月20日(日) 第3回実行委員会 高齢者施設訪問、保育園訪問の出し物検討、練習 8月24日(日)～25日(月) 第4回実行委員会 平和学習、防災学習、公民館宿泊(避難所体験)、近隣保育園訪問 9月21日(日) 第5回実行委員会 近隣高齢者施設訪問 10月19日(日) 第6回実行委員会 デフリンピックについて、聞こえないことの体験 11月16日(日) 第7回実行委員会 ものづくり体験(お盆づくり) 12月21日(日) 第8回実行委員会 環境問題、SDGs、公民館周辺のゴミ拾い 1月18日(日) 第9回実行委員会 公民館まつり展示作成 2月15日(日) 第10回実行委員会 公民館まつり展示作成、公民館まつりでの発表の練習 3月15日(日) 第11回実行委員会 一年間の振り返り 上記の通常会のほか、香川公民館主催事業に協力するとともに、公民館まつりや地域のまつりで成果を発表しました。 6月29日(日) 「オープンスペース七夕飾りを作ろう」に協力 2月29日(土)、3月1日(日) 「第35回香川公民館まつり」に出展 3月20日(金・祝) 「みんなのまつり(湘北地区社会福祉協議会)」に出展

【取組の成果】	【課題・今後の取組】
令和7年度は9人の子どもたちが参加しましたが、終戦80年を踏まえた平和学習、近隣保育園に訪問しての園児との交流、公民館周辺のゴミ拾いなど令和6年度とは異なるテーマにも取り組むことができました。 また、「オープンスペース七夕飾りを作ろう」では、講座に参加した子どもたちに対して、レッツトライボランティア参加の子どもたちが「先生役」になるなど、新しい公民館事業の形を作ることができました。 さらに、この事業は「大人メンバー」というボランティアスタッフにより運営していますが、過去にこの事業に参加したことのある15歳以上の方に呼び掛けた結果、大学生1人、高校生3人の応募がありました。当時、小学生だった子どもたちが、再び、協力者として公民館に戻ってくるという次世代育成の循環に繋がっています。	子どもが中心となりテーマ設定することがこの事業の主要な要素ですが、子どもに任せきれず、大人がつい、手を出してしまうことがありました。大人の関わり度合いを共有しながら、一方で、講座のタイトルである「ボランティア」からは大きく逸脱しないよう「大人メンバー」が誘導していく必要があります。 また、主要な「大人メンバー」が令和6年度に引退し、新たに大学生1人、高校生3人が加わりましたが、テーマごとの企画を担当するまでには至らず、実質、公民館長主体となってしまいました。若手の「大人メンバー」に何らかの役割を持ってもらうようにすることで、さらなる事業の活性化に繋がると考えます。

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	ジュニアリーダー養成講座
------------	--------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (3) 青少年団体活動等の充実
目標・目的	地域の青少年リーダーであるジュニアリーダーとして必要なスキルや知識、ボランティアスピリットを身に付け、ジュニアリーダーとして活動できるよう養成を行う。
事業内容	全6回の養成講座の中で、ジュニアリーダーとしての心構え、子ども会派遣の際などに活用するゲーム、レクリエーション指導の方法、活動中の危険予知について学ぶ。これらの知識、技術についての研修を通して、同年齢である養成講座受講者や講師とのコミュニケーションを行い、社会性、協調性を身に付けます。

活動指標	ジュニアリーダーズクラブ登録率			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	80%	—	80%	A
実績	43%	—	43%	

【事業実績】 地域の青少年リーダーとして活動するジュニアリーダーを養成するため、各種講座を実施しました。ゲームやレクリエーション指導、活動における安全管理等の研修、ボランティアスピリットについての講座を行いました。	
■対象： 中学校1年生～高校3年生の新規申込者及び現ジュニアリーダーのうち受講希望者 （新規申込者：9名）	
・4月19日（土）第1回「入門講座」 場所：市役所本庁舎4階会議室4.5 参加人数：6人 ・5月10日（土）第2回「危険予知トレーニング（KYT）」 場所：市役所本庁舎4階会議室1.2 参加人数4人 第3回「基礎講座」 場所：市役所本庁舎4階会議室1.2 参加人数：5人 ・5月24日（土）第4回「野外活動講座」 場所：ちがさき柳島キャンプ場 参加人数：4人 ・6月15日（日）第5回「応用講座」 場所：市役所本庁舎4階会議室3～5 参加人数：2人 ・1月24日（土）第6回「引率体験講座」（事前研修） 場所：市役所本庁舎4階会議室2～4 ・1月31日（土）第6回「野外活動講座」（野外炊事） 場所：ちがさき柳島キャンプ場 参加人数：2人	

【取組の成果】 中学1年生2名、中学3年生1名がジュニアリーダーズクラブへ入会し、登録率は約43%となりました。目標には届かなかったものの、前年度に実施した「小学生リーダー養成講座」に参加していた受講者もありました。 またジュニアリーダーの登録時期を従来の10月から7月に変更したことで、新規ジュニアリーダーの活躍の機会を増やすことができました。 講座全体を通じて、ジュニアリーダーとしての活動に興味を持つきっかけとなり、次世代を担う青少年リーダーを育成する一助となったと考えています。	【課題・今後の取組】 ジュニアリーダー養成講座では、受講者の継続率が目標の80%に届かず、部活動等の忙しさが理由で辞退するケースが課題となっています。 また、認知度向上や参加者の確保も重要であるため、今後、従来のジュニアリーダー養成講座の形にとらわれず、講師と相談しながら開催時期やプログラム内容を検討します。
---	--

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	茅ヶ崎公園体験学習センターにおける自主事業
------------	-----------------------

取組方針	【3】地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実 (1) 青少年健全育成施設の有効利用の促進
目標・目的	様々な学びや体験を通じて、子どもから高齢者まであらゆる世代の交流促進を目指します。
事業内容	体験学習センターの施設・設備を効果的に活用するとともに、青少年等の学びや体験につながる自主事業を企画・実施することで多世代交流を推進します。

活動指標	事業実施回数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	8回	8回	16回	S
実績	24回	11回	35回	

【事業実績】 令和7年度自主事業として59回実施し、そのうち、参加対象に青少年を含んだ体験学習事業を35回実施しました。 それらに加えて、ウクレレ教室や野菜の収穫体験等、自由に参加できる4つの開放事業において青少年の参加がありました。 事業一覧は別紙参照
--

【取組の成果】 指定管理者制度を導入後、2年が経過し、年間の来館者も延べ10万人を大きく超えている状況となっています。 自主事業についても、青少年を参加対象とした事業を幅広く展開し、きっかけを重要とする単発の事業だけでなく、事業後の成果の展示や施設菜園でのグループ活動など「継続」「好奇心の追求」などを満たすことができる事業も実施しました。 多様な学び・体験の場を提供するとともに、多世代交流ができる場となっていると考えています。	【課題・今後の取組】 定員を超えた応募が多くあり、講座によっては開催規模や頻度を検討する必要があります。 また、定期開催することで恒例となっている講座のリニューアルを図り、より魅力的な講座の開講や継続的な施設利用を図る予定です。 青少年の来館状況を見ると、中学生までは新オリーブ広場、高校生以上は学習室の利用が中心となっています。このことを踏まえたうえで、利用者全体が使いやすい施設となるよう運営を工夫するとともに、施設の使い方をよりわかりやすく周知していきます。
--	---

茅ヶ崎公園体験学習センター 令和7年度自主事業報告書

※網掛け事業：青少年を対象に含む

	事業名	会場	開催時期	開催回数 (回)	参加人数 (延べ人数)
1	映画上映会『terra ほくらと地球の暮らし方』茅ヶ崎でパーマカルチャーを実践する後藤村長×吉野さんクロストーク	2F1-2	4月5日(Sat)	1	28組32人
2	命のお米磨ぎと重ね煮のイベント	調理室	4月12日(Sat)	1	16人
3	タケノコ収穫体験	里山公園近くの私有地	4月12日(Sat)	1	10組30人
4	【健康講座⑫】102歳医師の三世代でい談	2階1-2	4月16日(Wed)	1	70人
5	【歌声サロン】	音楽室1	4月17日(Thu)	1	63人
6	親子de えぼし岩 磯の観察会 (事前勉強会)	2F-1・2	4月20日(Sun)	1	15組29人
7	松村さんによるカメラ講座②	美術工作室	4月26日(Sat)	1	7人
8	有本奈緒美さん 海ごみ箸置きワークショップ	1F-2	5月10日(Sat)	1	29人
9	BLOOP ペットボトルでキーホルダーづくり	1F1	5月10日(Sat)	1	34人
10	Hawaiianクレープフラワー	1F1-2	5月11日(Sun)	1	56人
11	フラダンス体験レッスン	1F1-2	5月11日(Sun)	1	64人
12	【音楽イベント② 鹿児島智子さんほか2名】	音楽室1(交流ラウンジ)	5月15日(Thu)	1	52人
13	カインズ サイクリング教室	美術工作室	5月17日(Sat)	1	3人
14	【健康講座⑬】小笹貴夫さん	1F1-2	5月21日(Wed)	1	52人
15	親子de姥島(烏帽子岩)自然観察会	烏帽子岩	5月24日(Sat)	1	14組28人
16	初夏の寄せ植え教室	美術工作室	5月31日(Sat)	1	13人
17	地元の人気鮮魚店直伝!親子で学ぶお魚さばき方教室	調理室	6月8日(Sun)	1	8組16人
18	稲村瑞穂さんによる 夏を彩る筆文字うちわ作り(大人向け)	美術工作室	6月14日(Sat)	1	9人
19	茅ヶ崎里山公園で小麦の麦刈り・脱穀	里山公園	6月14日(Sat)	1	6組21人
20	【健康講座⑭】後藤光子さん	1F1-2	6月18日(Wed)	1	40人
21	【音楽イベント③】真樹の会	多目的室AB	6月21日(Sat)	1	69人
22	井方五月心さんによる風鈴の給付け教室	美術工作室	6月22日(Sun)	1	24人
23	稲村瑞穂さんによる 夏を彩る筆文字うちわ作り(子ども向け)	美術工作室	7月12日(土)	1	7人
24	【健康講座⑮】小笹望さん	1F1-2	7月16日(Wed)	1	32人
25	【歌声サロン】	音楽室1(交流ラウンジ)	7月17日(Thu)	1	52人
26	うみかぜ フロレスリング	多目的室AB	7月21日(Mon)	1	120人
27	金丸知奈さん 料理教室	調理室	7月26日(Sat)	1	8組19人
28	SUP(スタンドアップパドルボード)体験	Tバー	7月31日(Thu)	1	台風で中止
29	【音楽イベント④】	音楽室1(BF1控室)	8月2日(Sat)	1	43人
30	茅ヶ崎里山公園で収穫した小麦粉でそうめん流し	里山公園	8月2日(Sat)	1	6組21人
31	【健康講座⑯】猪股甚暢さん	1F1-2	8月20日(Wed)	1	51人
32	キミはいくつ飛ばせるか??ゴム銃選手権	多目的室B	8月23日(Sat)	1	20人
33	藍染め教室	多目的室A	8月30日(Sat)	1	9人
34	うどんづくり	調理室	9月6日(Sat)	1	6組20人
35	【音楽イベント⑤】	1F交流ラウンジ	9月11日(Thu)	1	43人
36	【健康講座⑰】後藤光子さん	1F1-2	9月17日(Wed)	1	32人
37	初めてのウクレレレッスン		9月19日(Fri)	1	17人
38	純水館の講演会		9月20日(Sat)	1	110人
39	【健康講座⑱】小笹深幸さん	1F1-2	10月15日(Wed)	1	36人
40	【歌声サロン】	音楽室1	10月16日(Thu)	1	52人
41	ウクレレミニコンサート	1F交流ラウンジ	10月17日(Fri)	1	20人
42	龍口健太郎氏さんプロデュース 親子みんなでドッチボール!	多目的室AB	10月26日(Sun)	1	27組80人
43	相模原水系の木でつくるサクラの木で箸づくり「木育」講座	美術工作室	11月1日(Sat)	1	10組15人
44	どっこいファーム吉野さんの人参葉っぱ染め①下処理	調理室	11月8日(Sat)	1	2組3人
45	どっこいファーム吉野さんの人参葉っぱ染め②本染め	調理室	11月15日(Sat)	1	3組5人
46	【音楽イベント⑥】塩川ゆうこさんJAZZコンサート	音楽室1	11月16日(Sun)	1	165人
47	【健康講座⑲】山崎明美さん	1F1-2	11月19日(Wed)	1	26人

48	有本奈緒美さん講演会	美術工作室	11月29日(Sat)	1	10人
49	【音楽イベント㉔】 シュウBAND	多目的室AB	12月7日(Sun)	1	202人
50	湘南工科大学付属高等学校 クリスマスコンサート	多目的室AB	12月14日(Sun)	1	参加者60人 観覧者120人
51	【健康講座㉔】 小笹望さん	1F1-2	12月17日(Wed)	1	35人
52	【歌声サロン】	音楽室1	1月15日(Thu)	1	50人
53	【健康講座㉕】 猪股甚暢さん	1F1,2	1月21日(Wed)	1	36人
54	うみかぜダンス発表会	多目的室＋地階全室	2月14日(Sat)	1	参加者350人 観覧者700人
55	【健康講座㉖】 山崎明美さん	1F1,2	2月18日(Wed)	1	34人
56	プロに学ぶ生活術 おいしいコーヒーの淹れ方	調理室	3月7日(Sat)	1	8組12人
57	【健康講座㉗】 小笹貴夫さん	1F1,2	3月18日(Wed)	1	61人
58	【音楽イベント㉘】 ちいベイベーライブ	1F交流ラウンジ	3月20日(Fri)	1	12人
59	茅ヶ崎の子どもの現状（貧困・虐待）と社会保障ゲーム	美術工作室	3月21日(Sat)	1	17人
	はまかぜ菜園	はまかぜ菜園、調理室など	通年事業		15組30人
	MINAKOさんのウクレレ教室		開放事業		
	うみかぜミュージアム	事務所前、屋外	開放事業		
	オリーブ広場での野菜収穫体験	オリーブ広場	開放事業		
	宇宙朝顔	事務所	開放事業		

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	青少年事業の実施
------------	----------

取組方針	【1】家庭における青少年育成への支援 (1)正しい知識の普及と学習機会の拡充 ア 青年事業 ※【1】-(1)を選択した場合のみ
目標・目的	青少年の健全育成のため、余暇活動推進の一環として居場所づくりや多様な学習の機会を提供します。
事業内容	(1)講師による体験型講座 (2)他課や企業等との連携講座 (3)You Tubeを活用した動画配信講座 (4)施設を有効利用した事業

活動指標	事業計画・実施			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	事業計画・実施	事業計画・実施	事業計画・実施	S
実績	事業計画・実施(7回)	事業計画・実施(6回)	事業計画・実施(4回)	

【事業実績】

体験型講座を7講座、他施設または企業と連携して実施した連携講座を4講座、YouTubeを活用した動画配信講座を1事業、施設を有効活用した事業を5事業実施しました。

事業一覧は別紙参照

【取組の成果】

連携事業では、民間企業や神奈川県、小和田公民館といった多様な機関とのネットワークを構築・活用し、科学教室と簿記といった専門性の高い4事業を協働で実施し、子どもたちに幅広い体験学習の場を提供でき、知的好奇心や主体的な学びの意欲の向上に繋がりました。

「青少年会館フェスタ2025」では、近隣の小・中学校や地域の行事日程と調整をした結果、参加人数は昨年度の923人から2,041人へと1,118人の増加となりました。また、その様子をまとめた「茅ヶ崎市青少年会館 青少年会館フェスタ2025」動画を配信することで、オンラインでの視聴と青少年間交流の機会を提供できました。

【課題・今後の取組】

青少年会館フェスタ2025のアンケートで、青少年団体の参加の支援をする大人の就労を考慮し、準備で土曜、開催で日曜を希望するとの意見がありました。

今後の開催日程の調整では、より多くの利用団体が参加し、かつ青少年や近隣住民の方々にも気軽に足を運んでいただけるよう、「参加側の利便性」も踏まえて取組みます。

青少年会館 令和7年度 ア 青年事業一覧

事業名	開催日	参加人数	定員	応募
1.体験型講座(7事業)				
(1) ねんどdeミニチュアフード・ピザを作ろう！	5月24日(土)	12名	10名	35名
(2) ウクレレワークショップ	①6月21日(土) ②6月22日(日)	延べ42名	20名	61名
(3) 夏休み卓球教室	①8月22日(金) ②8月23日(土) ③8月24日(日)	延べ52名	18名	26名
(4) レジンdeオリジナルチャームを作ろう！	9月6日(土)	10名	10名	26名
(5) サイエンスショー	10月5日(日)	28名	30名	188名
(6) 鉄道模型の工作教室	①2月7日(土) ②2月8日(日)	延べ17名	10名	26名
(7) 3x3(スリーエックススリー)バスケットに挑戦！	3月28日(土)	28名	30名	37名
2.他施設または企業と連携して実施した連携講座(4事業)				
(1) 小和田公民館×青少年会館 すぐに！いつか！将来役立つ初歩の簿記	①8月2日(土) ②8月9日(土)	延べ12名	20名	8名
(2) プチロボで競争しよう！茅ヶ崎大会	8月30日(土)	22名	24名	25名
(3) 令和7年度 かながわりレー 科学教室 茅ヶ崎	8月31日(日)	24名	30名	121名
(4) 科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー ホバークラフト	1月24日(土)	27名	30名	36名
3.YouTubeを活用した動画配信講座(1事業)				
(1) 動画配信「茅ヶ崎市青少年会館 青少年会館フェスタ2025」	3月19日(木) 公開	再生回数:161回		
4.施設を有効活用した事業(5事業)				
(1) 青少年学習室開放	通年			
(2) トレーニング室開放	通年			
(3) 青少年音楽室個人利用開放	通年			
(4) 青少年卓球開放	通年			
(5) 青少年会館フェスタ2025	11月24日(月・祝)			

「令和7年度茅ヶ崎市青少年対策取組方針」に基づく主な事業

事業名	ブックトーク講師派遣事業			
取組方針	【2】学校教育の充実 (2) 児童・生徒指導の充実			
目標・目的	子どもたちが幅広い図書を知り読書の広がりとなる契機とするため、読書離れが始まる段階にさしかかる中学1年生を対象として行います。中学生の読書活動に関する情報提供を行い、家庭や学校等における読書活動を推進します。			
事業内容	「第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書の喜びをすべての子どもたちに届け、読書に親しむ環境づくりを進めるために、関連する主体が連携して子どもの読書活動を推進します。 講師として、中学生の読書について詳しくかつ市内の学校で読書活動指導協力者としての経験が8年以上ある方、または同等の知識と経験があると図書館が判断した方を派遣し、中学生の興味・関心に合わせた本を紹介する読書支援を行い、主体的な読書姿勢を育み、図書館の利活用と読書習慣の形成を促します。派遣希望が多い場合は、実施実績のないところを優先するなど、より多くの学校が参加できるよう調整します。			
活動指標	事業実施校数、参加クラス数			
	上半期	下半期	通年	評価
目標	3校11クラス	4校19クラス	7校30クラス	S
実績	3校11クラス	4校19クラス	7校30クラス	
【事業実績】 読書離れが進み始める中学1年生を対象に、次のとおりブックトークを行いました。 6月11日(水)・18日(水)・25日(水) 梅田中学校1年生(3クラス) 6月19日(木)・7月3日(木) 赤羽根中学校1年生(4クラス) 9月22日(月)・29日(月) 松浪中学校1年生(4クラス) 10月27日(月)・11月4日(火)・10日(月) 鶴嶺中学校(6クラス) 11月17日(月)・12月1日(月)・15日(月) 円蔵中学校(4クラス) 1月22日(木)・2月5日(木)・12日(木) 第一中学校(6クラス) 2月27日(金)・3月6日(金) 北陽中学校(3クラス) 幅広いジャンルの本を紹介することで、生徒たちの興味関心を引き出していました。紹介した本は約1週間、学級に置いて貸出可とし、自由に読んでもらえるようにしています。休み時間になると、生徒たちはさっそく本を手にとっていました。 派遣した講師から、「生徒がブックトークを楽しんで聞けるのは、小学生のころから当たり前のよう読書活動の授業があって、読み聞かせやストーリーテリング等で本の楽しさを知っているし、聞く力が育っているからだ」との感想がありました。				
【取組の成果】 準備段階ではクラスに適したテーマ設定を行うなど担任教員と丁寧な打ち合わせを実施し、当日は、講師がクラスの雰囲気等に合わせながらトークを行うことで、生徒の関心を引き付けていました。その結果、どのクラスでも集中して話を聞いてもらうことができ、また、休み時間中には紹介した図書を手に取る生徒が多く見られたとの報告も学校よりいただいています。これらのことから、中学生の読書活動推進に一定の成果があったと考えます。また、読書活動支援者を対象に講座を開催するなど、講師確保に向け人材の育成を支援しました。		【課題・今後の取組】 ブックトークの申し込みがない中学校への働きかけ、派遣する講師の確保が課題です。		

2-2 事業一覽

1 家庭における青少年育成への支援

(1) 正しい知識の普及と学習機会の拡充

ア 青年事業（青年の健康な余暇活動推進の一環として、オンラインの活用を含めた様々な学習機会を提供し、知識及び技能の習得及び向上、世代間交流を図る。）

課かい名		事業数	事業名
社会教育課	小和田公民館	4	・ 星の観察会
			・ こども茶道教室
			・ 日本の文化に触れよう「ゆかた」
			・ すぐに！いつか！役立つ初歩の簿記
	鶴嶺公民館	6	・ 陶芸教室
			・ 七宝入門
			・ つるみねオープンサークル
			・ つるみね健康レストラン
			・ 情報リテラシー講座
			・ 縄文体験講座シカ角で釣針づくり
	南湖公民館	4	・ ジュニア サウンド アカデミー
			・ おやため交流会
・ けんだま			
・ ビーチサッカー教室			
香川公民館	1	・ 君がもっと強くなるトレーニング	
育成担当	1	・ はたちのつどい	
青少年課	青少年会館	14	・ 青少年事業の実施・・・・・・・・・・ P 1 7
			ー トレーニング室開放
			ー 青少年学習室開放
			ー 青少年音楽室個人利用開放
			ー 青少年卓球開放
			ー 初めて学ぶ簿記
			ー ねんどdeミニチュアフード「ピザを作ろう！」
			ー I love ちがさき・レジndeキーホルダーを作ろう！
			ー 夏休み卓球教室
			ー プチロボで競争しよう 茅ヶ崎大会
			ー かながわりレー科学教室
			ー オンライン動画
			ー チャレンジ♪フラダンス
			ー ウクレレ教室
			ー サイエンスショー
合 計		26	

イ 親子事業（子どもと保護者が同じテーマで学習することによって共通の話題を持ち、相互のふれあいを図る。）

課かい名		事業数	事業名
社会教育課	社会教育担当	1	・ 茅ヶ崎eフェス2025夏・・・・・・・・・・ P 8
	小和田公民館	4	・ 親子で楽しむ工作教室
			・ ちびっこ広場
			・ のびのび広場
			・ 子育てひろば
	鶴嶺公民館	6	・ 夏休み親子料理教室
			・ 親子でみそ作り講座
			・ 親子で防災つるみね
			・ 子育ての広場 カルガモ
			・ 子育て応援プログラム
			・ 海藻おしば教室

課かい名		事業数	事業名
社会教育課	鶴嶺公民館	3	・親子で秋の自然観察
			・親子グラウンド・ゴルフ体験教室
			・子どもおとなもみんなで音あそび・・・・・・・・P11
	松林公民館	3	・親子でそば打ち体験教室
			・夏休み親子おもしろ科学実験
			・公民館D I Y大作戦～みんなで掲示板づくり～
	南湖公民館	4	・わらべうたと絵本で遊ぼう
			・なんご昆虫ミュージアム
			・絵本とおはなしの時間
			・未就学児親子の遊びの広場
	香川公民館	10	・おちゃっぴ粘土教室
			・親子賛沢味噌づくり教室
			・親子可愛い工作教室
・かめさんのおうち（子育てフリースペース）			
・保育園のびのび広場			
・お金ってなに？どこからくるの？			
・折り紙で恐竜を作ろう			
・夏のおはなし会			
青少年課	青少年会館	8	・おもしろ理科実験
			・プログラミング教室
			・沖縄のシーサーを作ろう！
			・親子でつくる苔玉教室
			・親子でつくる盆栽教室
			・親子のプログラミング教室No1
			・親子のプログラミング教室No1
			・お米の教室
図書館	本館	3	・日本茶教室
	香川分館		・日本航空羽田整備工場見学会
	本館・香川分館		・小さい子～小学生向けおはなし会(毎月第1・2・4土曜日)
合計		41	・小さい子～小学生向けおはなし会(毎月第3土曜日)
			・ブックスタート事業

ウ 子ども事業（集団行動を通して自発性や社会性を育み、広域の児童の文化活動や仲間づくりの促進を図る。）

課かい名		事業数	事業名
社会教育課	小和田公民館	13	・ おもしろいっぱい 遊び空間
			・ 子どもシネマランド
			・ 子どもの広場
			・ いけばな講座
			・ 樹脂粘土工作
			・ ちりめんモンスターを探せ
			・ 薬剤師体験
			・ プログラミング教室
			・ クリスマスタペストリー
			・ かけっこ教室
			・ 投資体験ゲーム
			・ 夏休みこわだ子どもキッチン・・・・・・・・・・ P 1 0
			・ 知ろう！学ぼう！認知症～小学生のための夏休み特別講座
	鶴嶺公民館	5	・ 子どもの広場
			・ スポーツチャンバラ体験教室
			・ モルックで遊ぼう
			・ 小学生読書事業
			・ 警察官のお仕事体験
	松林公民館	8	・ 子どもの広場・・・・・・・・・・ P 1 2
			・ 子どもおりがみ広場
・ 子ども将棋スペース			
・ 夏休み子ども卓球教室			
・ 子ども琴体験講座			
・ こども手話教室			
・ 夏休みこどもあみもの教室			
・ 夏休み子ども DAY			
南湖公民館	3	・ 子どもの広場・・・・・・・・・・ P 1 3	
		・ ドキドキチャレンジ	
		・ ねんどで自分の好きなどうぶつをデザインしてみよう	
香川公民館	2	・ (仮称)ペープサートを作ろう	
		・ (仮称)子ども麻雀教室	
青少年課	育成担当	3	・ 冒険遊び場
			・ インリーダー教室
			・ 宇宙教室
	青少年会館	11	・ 昔遊びを楽しもう
			・ 子ども科学教室（気象）
			・ 子ども科学教室（エネルギー）
			・ DIYこども工作教室
			・ チリメンモンスターをさがせ！
			・ 消しゴムスタンプ教室
			・ 小学生のヨット乗船体験教室
			・ 科学のびっくり箱 なぜなにレクチャー
			・ ドローン飛行プログラムを体験しよう
			・ 子どもクッキング
			・ かけっこ教室
合 計		45	

エ 交流事業（地域・国際の理解を深め、交流を促進する。）

課かい名		事業数	事業名
多様性社会推進課		2	・ ゆかりのまち青少年交流事業 ・ 北マケドニア共和国絵画コンテスト「SMALL MONTMARTRE OF BITOLA」への参加
社会教育課	小和田公民館	4	・ 公民館まつり
			・ 日本の年越し（しめ飾りづくり）
			・ こわだ音楽祭
			・ 中学生との交流事業
	鶴嶺公民館	4	・ 国際交流講座
			・ 日本の年越し（しめ飾りづくり）
			・ つるみねミュージックイン（サマーライブ）
			・ 公民館まつり
	松林公民館	3	・ 公民館まつり
			・ 平和記念事業「集い・学び・繋がる折り鶴」
	南湖公民館	3	・ 日本の年越し（しめ縄づくり）
			・ なんごサウンドコースト
・ 公民館まつり			
香川公民館	3	・ 日本の年越し（しめ飾りづくり）	
		・ 布ぞうりづくり	
		・ 香川公民館まつり	
青少年課	青少年会館	2	・ スポーツウエルネス吹矢体験教室 ・ 青少年会館フェスタ2025
図書館	本館	2	・ ちがさき・子ども読書フォーラム ・ 夏休み！宿題応援ブックトーク
合 計		23	

(2) 放課後等の青少年の居場所づくりの充実

ア 小学校ふれあいプラザ事業の充実

課がい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	1	・ 小学校ふれあいプラザ事業
合 計		1	

イ 放課後児童クラブの運営

課がい名		事業数	事業名
青少年課	児童クラブ担当	1	・ 放課後児童クラブ事業
合 計		1	

ウ 地域における青少年の居場所づくり

課がい名		事業数	事業名
こども政策課	こども政策担当	2	・ こどもの居場所づくり支援事業
			・ こども食堂支援事業
合 計		2	

2 学校教育の充実

(1) 地域の教育資源を活用した教育活動の推進

課がい名		事業数	事業名
文化推進課		1	・文化芸術教育プログラム事業
資源循環課		1	・環境学習（出前授業）
都市政策課		1	・心のバリアフリー教室
学校教育指導課		1	・学校支援・地域連携事業・・・・・・・・・・ P 4
社会教育課	博物館	1	・出前授業（学芸員の授業協力）
合 計		5	

(2) 児童・生徒指導の充実

課かい名		事業数	事業名
多様性社会推進課		1	・「平和について」ポスター・作文コンテスト、ピーストレイン平和大使派遣事業
図書館	本館	4	・小・中学校図書館におすすめ本の展示
			・読書週間 茅ヶ崎市児童・生徒ポスター展
			・ブックトーク講師派遣事業・・・・・・・・・・ P 1 8
			・総合学習の受入
	香川分館	1	・総合学習の受入
合 計		6	

(3) 青少年教育相談の充実

課がい名		事業数	事業名
教育センター		4	・青少年教育相談事業・・・・・・・・・・ P 6
			・心の教育相談事業・・・・・・・・・・ P 7
			・スクールカウンセラー活用事業
			・あすなろ教室事業
合 計		4	

(4) ICT環境を活用した学習活動の推進

課がい名		事業数	事業名
学校教育指導課		1	・GIGAスクール構想事業・・・・・・・・・・ P 5
合 計		1	

(5) 特別支援学級の全校設置

課がい名		事業数	事業名
学校教育指導課		1	・特別支援学級の全校設置
合 計		1	

(6) 中学校給食の全校実施

課がい名		事業数	事業名
学務課		1	・中学校給食の全校実施
合 計		1	

3 地域社会の健全育成機能の強化及び社会教育の充実

(1) 青少年健全育成施設の有効利用の促進

課かい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	5	・子どもの家（6施設）
			・青少年広場
			・茅ヶ崎公園体験学習センターにおける自主事業・・P16
			・各種フリースペース、学習室等の開放
			・体験学習動画の配信やオンライン事業の実施
	青少年会館	4	・トレーニング室開放
			・青少年学習室開放
			・青少年音楽室個人利用開放
			・青少年卓球開放
合 計		9	

(2) 青少年指導者の養成

課かい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	1	・青少年指導者等への研修会の開催
合 計		1	

(3) 青少年団体活動等の充実

課かい名		事業数	事業名
スポーツ推進課		1	・スポーツ少年団等の育成支援
青少年課	育成担当	3	・ジュニアリーダー養成講座・・・・・・・・・・P15
			・3市1町ジュニアリーダー広域交流研修
			・小学生向け体験活動事業（夏・宿泊・冬）
合 計		4	

(4) 青少年の健全育成のための地域活動等の充実

課かい名		事業数	事業名
秘書課		1	・ 青少年海外派遣事業
スポーツ推進課		1	・ ジュニアスポーツ教室(指定管理者の自主事業) ((公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団、(株)東京アスレティッククラブ、茅ヶ崎スマートウエルネスパーク (株))
保健所	保健予防課	1	・ 精神保健福祉相談
課かい名		事業数	事業名
社会教育課	博物館	1	・ 子どもワークショップ・・・・・・・・・・ P 9
	小和田公民館	2	・ 公民館SDGsサポート隊 ・ 卓球開放
	鶴嶺公民館	5	・ 親子で秋の自然観察
			・ なっちゃん？リサイクルマスター
			・ 教えて！生きもの博士
			・ 小学生サークル体験
	・ 卓球開放		
	松林公民館	2	・ 卓球開放 ・ 子どもボランティア
南湖公民館	1	・ 卓球開放	
香川公民館	3	・ レッツ！トライ！ボランティア！！2025・・・・ P 1 4	
		・ 卓球開放	
		・ 夏休み自由広場	
青少年課	育成担当	1	・ 青少年関係団体の育成事業
	青少年会館	2	・ トレーニング室開放 ・ 青少年卓球開放
図書館	香川分館	2	・ 夏休みこども図書館員体験 ・ 工作教室
合 計		22	

4 青少年の非行防止のための地域活動の充実

(1) 地域の広報啓発活動の推進

課かい名		事業数	事業名
地域福祉課・青少年課		1	・社会を明るくする運動
合 計		1	

(2) 非行の未然防止活動の充実

課かい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	1	・地域のパトロール（各学区青少年育成推進協議会）
合 計		1	

(3) 有害環境の浄化の促進等

課かい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	2	・社会環境実態調査（青少年指導員） ・有害図書回収（青少年指導員）
合 計		2	

5 子どもの安全を守る取組の推進

(1) 啓発活動の充実

課かい名		事業数	事業名
防災対策課		1	・ 防災サマースクール
安全対策課		3	・ 茅ヶ崎・寒川犯罪ゼロ推進会議
			・ 防犯情報メール配信
			・ 青色防犯パトロール
こども育成相談課		1	・ 児童虐待防止周知カード配布
消防指導課		1	・ 防犯パトロール
青少年課	育成担当	2	・ 子どもの安全を守るキャンペーン（5、11月）
			・ 子ども・若者育成支援強調月間（11月）
合 計		7	

(2) 学校における取組の充実

課かい名		事業数	事業名
安全対策課・学校教育指導課		1	・交通安全教室
学校教育指導課		1	・学校における取り組みの充実（学校における防犯教室、危険箇所把握のためのパトロール等）
青少年課	育成担当	1	・防犯ブザーの配布（市内新小学1年生）
合 計		3	

(3) 地域活動への支援

課かい名		事業数	事業名
安全対策課		3	・自主防犯活動団体支援事業
			・防犯ネットワーク会議
			・香川駅前防犯連絡所
青少年課	育成担当	1	・パトロール等啓発物品の配付
合 計		4	

(4) インターネットトラブル等に対する取組の充実

課かい名		事業数	事業名
青少年課	育成担当	1	・ネットパトロール事業
合 計		1	

評価	判定基準
S	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果があった。
A	事業の指標は達成できなかったが、成果はあった。
B	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果は今後見込める。
C	事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める。
D	事業の指標を概ね(80%以上)達成し、成果は見込めない。
E	事業の指標を達成できず、成果も見込めない。
その他	